

このページは、小・中学生に向けて、小学生によるさまざまな仕事体験を紹介し
ます。記事は梅光学院大学子ども学部子
ども未来学科の学生が作っています。

しものせき キッズページ

とよた さと
豊田ホテルの里ミュージアムで
しごとたいけん
お仕事体験!! 2



10月号の参加者(前列中央から右へ)西山小学校5年の柳瀬伸くん、6年の柳瀬萌さんと編集記者(後列左から右へ)真栄田あかりさん、萩原明日香さん

今回も、豊田ホテルの里ミュージアム(豊田町大字中村)に行って学芸員のお仕事体験をしたよ!



学芸員のお仕事

今回も学芸員の川野さんにお仕事を教えてもらいました。学芸員は、博物館に勤めていて、資料を集めたり調べたり、展示したり、調査や研究をしたりする専門家のことだったよ。川野さんは、ホテルが、光を使ってどんな会話をしているのか調べているそうです。ホテルの光は私たちの言葉と同じなんだね。

豊田ホテルの里ミュージアムにある化石を見せてもらいました。ここには、地元の研究者から寄贈されたものや、調査して集めた化石や岩石が収蔵されているんだって。最初に見せてもらった化石は洗濯板みたいにガタガタしていて、みんなで「何これ?と悩んでいたんだけど、大昔、日本にいたナウマンゾウの歯の化石なんだって。他にも南極の石を見せてもらって、小学生のみんなも大興奮。



化石に大興奮!



カブトムシって!?

カブトムシの解剖。顕微鏡を見ながら、羽を切り取って、脚を切り取って、それぞれどんな作りになっているのか調べたよ。ちよつとかわいそうな気持ちになるけど、カブトムシの羽や脚のつくりって、人間にも創れないような複雑な形をしているんだね。だから、羽や脚のつくりを研究していくことで、色々な技術の進歩に役立っているんだね。

シロアリの癖って知ってる? シロアリって、木とかを食べてしまっって、時には家も食べちゃうあの虫のことだよ。シロアリには、ボールペンで引かれた線の上を外れず歩く癖があるんだって。川野さんに教えてもらったけど、これは、シロアリが道しるべに使う体から出る物質とボールペンに含まれているものが似ているからなんだって。面白いよね。



シロアリの癖って?!

豊田ホテルの里ミュージアムでお仕事体験をして、専門家の人たちの知識のすごさがわかったんだ。豊田ホテルの里ミュージアムは、ホテルだけじゃなく、その他の虫や動物、植物、化石なども分かります。展示してあるんだよ。虫が好きなら、理科が好きなら、もう楽しいからぜひ行ってみてね!



すーすー!